

地球通信

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡県駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
<http://www.kotoba.ac.jp>

～私のふるさとでの伝統行事～

Magfirah Ulfa <静岡マカッサル日本語センター>



私はウルフアと申します。インドネシアのスラヴェシ島南西に居住する民族、ブギス族の出身です。今回はブギス民族伝統行事Mappalette Bola「マッパレット・ボラ」についてご紹介したいと思います。

なぜ、ふるさとのことを書こうと思ったのかというと、インドネシア出身の人たちにもあまり知られていない伝統行事であるということと、きっとインドネシアの他の島の人たちもびっくりするだろうし、これを紹介するのは面白いかな、ふるさとのこと知ってもらえるかなと思ったからです。

この「マッパレット・ボラ」とは、ある場所から別の場所に家を移動する際に、お互い協力しながら人の手だけで一緒に持ち上げて移動することをいいます。ブギスの家は木で作られた高床式住居で、今でもそのような家が主流です。では、なぜこのように家を移動させるかとい

うと、土地ではなく家を売りたい場合に起こります。新しい家が欲しい時に前の家を売るという考えです。売れた家は新しい所有者の元へ移動されます。または引っ越しをする時にも今住んでいる家ごと引っ越しをします。

この伝統行事はブギス民族のコミュニティの間で相互協力の感覚を育むと信じられていて、1つの家を移動するために家の大きさに応じて数百から数千人の人手が必要とされ、家族やご近所など地域みんなと一緒にやろう！という気持ちになる大切な行事です。

引っ越し当日は、作業を行う前に手伝ってくれる人たちが全員集まって一緒に食事をします。伝統的なケーキや本格的な食事などが用意されます。引っ越し作業は1日で終わり、それぞれ家に帰る前にもまたみんなで食事をします。

この伝統行事はみなさんびっくりするかもしれませんが、現在でも行われています。つい最近でもふるさとのいる母から「マッパレット・ボラ」があったと聞きました。私も高校生の時に実際見たことがあります。今現在私が住んでいるマカッサルではこのような木の家はもうほとんどありませんが、ふるさとのことを思い出すと浮かんでくるのはこの家の引っ越し「マッパレット・ボラ」です。

日本に来て一番嬉しかったことは、きれいで美しい公園がたくさんあることです。また自転車に乗る時も道が整備されているので心配いりませんでした。

Magfirah Ulfa

3ヶ月間おつかれさまでした。またね！



8月に袴田理事長がインドネシアへ訪問した様子をお届けします+

「次世代に広がるKKGの輪」

地球通信読者の皆さん、写真の中に見覚えのある人はいませんか？

今回のインドネシア訪問（8/10～17）は、コロナ前2019年8月以来4年ぶり。目的は、今年の1月にバンドンで行われた同窓会へ出席できず申し訳ない思いがあったこと、日本社会から熱い要望のあるインドネシア人人材を増やしたく、バンドンからの留学生の流れにテコ入れをしたかったこと、インドネシア社会の日本留学に対する熱量を感じてくることなどでした。



奨学会にもお声をかけたことで、インドネシアと強いつながりをお持ちの菅ヶ谷由美子さんと、ジャフェットさんの支援をしてこられた望月博美さんもお一緒くださることになり、とりまとめ役のジャフェットさんを入れて四人旅となりました。

結果的に見れば、かなりの「手ごたえ」がありましたが、これを「成果」と言えるものにしていくのはこれからです。目的を果たすためにビジネスだけで押し通していたらこのように順調にいかなかったかもしれません。国際交流の面で菅ヶ谷さんがいてくださったことや日本語学校卒業後の出口として就職活動にも力を入れていることを望月さんが見せてくださったことにより、人と人の穏やかな繋がりを基にしたインドネシア人好みのビジネス展開ができたと思うのです。

今回私たち一行を出迎えてくれた卒業生は多くが葵区北の校舎で勉強をした学生たちでした。彼らの流暢な日本語に加え、インドネシア社会を牽引し、家庭では子供の父や母としての経験から培われた人間的厚みとインドネシア人らしい優雅さに、私たちは心底魅了されました。

彼らは、自分の娘を、自分の甥っ子を日本に行かせるんだと口々に言っていました。「ぜひKKGに来て!」、私は心の中で叫びました。KKGの活動のバトンは次世代に手渡されつつある…そんな実感を覚えた一週間でした。





KKG WORLD FESTIVAL 2024

今年度は7月27日土曜日のみの開催となりましたが、無事当日を迎えることができました。本校への入学希望者を対象としたオープンキャンパスに加え、在校生や卒業生、学校関係者の方にも楽しんでいただけるよう、カフェの国数やステージの回数も増やし、スタンプラリーも開催しました。

しかしながら未だ新型コロナウイルスが収束していない状況のため、今年度も事前予約のお願い・カフェのチケット制を継続しました。

お天気にも恵まれた当日には100名がご来場くださり、説明会や各ブースも盛況でした。ステージで行った英語のクイズ大会や、ためたスタンプで挑戦できる“人間スロットゲーム”も大盛り上がりでした。ご来場の方々に本校を知っていただくよい機会であったのと同時に、在校生にとっても学生生活の思い出の1つとなったことでしょう。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

(青山)



senmon_after school

FOLLOW



放課後に餃子パーティー♡中国語講師の俞虹先生に作り方を教わり、手作りの皮を使って餃子を作りました。和気あいあいとした雰囲気での餃子づくりを、学生はとても楽しんでいる様子でした。みんなで一生懸命作った手作りの餃子は「很好吃!!」 Hěn hào chī !!



就職支援室より

今年も暑い夏がやってきました。学生は会社説明会や職場見学など、暑さに負けず日々内定獲得に向け頑張っています!今回掲載させてもらった写真は、職場見学で【しずおか空港】へ行った際の卒業生との座談会の様子です。ベストの制服を着ている2名は今年の4月に入社して、卒業からまだ3カ月しか経っていないのに、すっかり仕事に慣れた様子でとても楽しそうに仕事をしていました。見学に参加した2名も入社試験を無事終了し内定をいただきました。専門学校で学んだ言語を活かせる職場に、一人でも多くの学生が就職してくれることを楽しみにしています。(山西)



JAPANESE LANGUAGE SCHOOL 国際ことば学院日本語学校



～日本語でスピーチ～

5月5日の「こどもの日」に
学校の入口にこいのぼりを飾りました！

5月11日（土）藤枝市国際友好協会の総会に当校から2年生のケイトさん（フィリピン）と、アユさん（インドネシア）2名の学生が参加し、日本で体験したことや感じたことを日本語でスピーチしました。ケイトさんに感想を聞いてみました。



左:ケイトさん 右:アユさん

ケイトさん：参加を希望したのは、大勢の人の前で話せるようになりたかったことがきっかけです。しかし、母国語ではない言葉で話すのはかなり難しいということに気づき、人一倍勉強し、人一倍努力しなければなりません。その上、担当の先生がスピーチのコツを教えてください、何度も練習しました。準備段階では先生が発音をはじめ、抑揚のつけ方、ジェスチャーなどあらゆる面で指導してくださいました。日本語でのスピーチは、緊張しないように頑張りました。日本人にも会って話すことができ、参加して良い思い出になったと思います。



初めての浴衣に、ワクワク ドキドキ

今年の七夕は毎年恒例の短冊飾りに加えて浴衣体験を行いました。初めて実施した浴衣体験では、70名以上の学生が日本の浴衣を着てみたいと希望し、当日は8名の着付けの先生がボランティアで学校に駆けつけてくださいました。学生たちはワクワクしながら好きな浴衣と帯を自分で選び、実際に浴衣を着つけてもらうときは初めて着る浴衣にドキドキしている様子でした。その後、笹の前でモデルのようにポーズを決めて写真や動画を撮る姿は、とても満足げで良い文化体験ができたのではないかと思います。また当日は教職員も浴衣を着用し、学生から「先生かわいい」と普段言われることがない言葉に笑みがこぼれる職員もいました。ご協力いただいた着付けの先生方、どうもありがとうございました。



～ようこそ！ことば学院へ～

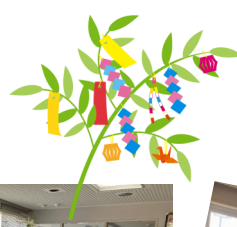


7月20日（土）、2024年度7月生の入学式／懇親会を学校のホールにて行いました。4月生として遅れて入国した4名と7月生20名、計24名が式に参加しました。式中は強張っていた顔も、懇親会では「日本の飲み物は種類が多くてびっくりしましたが、どれもおいしいです」と少しずつ緊張もほぐれ、ゲームを通して、ご来賓の方々や他国の学生との会話を楽しんでいる様子でした。野田校長からは「これから日本語を使ってできることを増やせるように、何でも挑戦してみよう」という激励の言葉がありました。1年後の自分を思い描いてみてください。どんな皆さんになっているでしょうか。充実した留学生活が送れますように応援しています！



MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校
日本人と話そう in 富士市国際交流ラウンジ(FILS)

6月16日（日）に、富士市交流プラザで行われた日本語ボランティア入門講座の方々との日本語での交流にインド、インドネシア、ミャンマー、ネパール、スリランカの学生18名が参加しました。折り紙や七夕飾り作り、カルタの体験をさせていただきました。参加したサンジャナさん（インド）は、「地図を見ながら、自分の国の紹介をした。有名な観光地や食べ物を紹介できて、楽しかった。」と嬉しそうに話してくれました。楽しい企画を考えてくださりありがとうございました。



七夕まつり in 小木の里2024・校内の七夕

今年も本校をご支援くださってる方から笹をいただき、学校の中に短冊を飾りました。日本語能力試験直前ということもあり、「合格できますように」という願いも多い中で、国の平和を願ったもの、家族の幸せを願ったものもあり、改めて、留学生が背負っているものを感じました。七夕飾りも、事務員たちと一緒に作り、華やかに笹を彩ってくれました。

また、7月6日（土）には駅南まちづくり協議会主催の「七夕まつりin小木の里」のボランティアに7名の学生が参加し、お客さんの呼び込み、景品の受け渡しなどのお手伝いをさせていただきました。最初は少し恥ずかしそうにしていた学生たちも、徐々に慣れてきて、最後は声を張り上げ、興味を持った子供達に囲まれて、一生懸命説明している姿は微笑ましいものがありました。富士校はありがたいことに、このような地域の方々と触れ合える機会の多い学校ですので、ぜひ一人でも多くの学生に経験してもらいたいと思っています。

7月生入学式



7月27日（土）に7月生の入学式が行われました。新たに13名の学生が入学いたしました。袴田理事長のご挨拶に学生達は熱心に耳を傾けていました。続いて新入生の代表のDクラスのイさん（ミャンマー）が日本でのエピソードを紹介し「親切にしてもらったことで日本人のイメージが変わった。実は将来何をするかは決まっていないが、これから日本で生活していく中で見つけていきたい。」とこれからの抱負を語りました。続いて他の新入生も自己紹介をしました。次に在校生の挨拶ではBクラスのクマリさん（ネパール）が、「日本の生活は大変ですね。しかし、両親の苦勞を知り、国での生活と日本にいる自分の生活を比べた時、本当に大変だと思いますか。」と後輩たちの気持ちに共感しつつも、先輩としてのアドバイスをしました。最後にお客様からも一人一人暖かいお言葉をいただきました。多くの人に支えられていることを学生、教職員改めて感じた式となりました。



学校法人 国際ことば学院 お知らせ

国際ことば学院外国語専門学校 2025年度入学案内

- ◆入学試験： ①10月19日(土) 出願締切：10月 7日(月)
 ②11月16日(土) 出願締切：11月 1日(金)
 ③12月 7日(土) 出願締切：11月29日(金)
 ④ 1月18日(土) 出願締切： 1月10日(金)

詳しくはこちらから



専門学校HP

※入学定員になり次第、締め切りとなります。予めご了承ください。

就職支援室からこんにちは



国際ことば学院外国語専門学校

昨年度から始まった新コース《ビジネスコミュニケーション学科》の学生も早いもので来年3月に卒業を迎えます。就職を希望する学生は、夏休みを利用してインターンシップも積極的に参加をして頑張りました。掲載している写真は8月1日から1週間、5名の学生がインターンシップに参加している時の様子です。今回お世話になった会社は、徳島県にある製麺会社で今年度初めてご縁をいただきました。実際に私もインターンシップ期間中に訪問させてもらい、学生が一生懸命取り組む姿を見て、学校にいる時とは違う一面を見ることができました。その後、3名も内定をいただくことができ、インターンシップも含めて感謝の気持ちでいっぱいです。(山西)



【お知らせ】

過日8月3日、『マルチリンガル末續ライブラリー(専門学校内)』において、「前理事長 末續 晨一郎先生を偲ぶ会」を執り行いました。会場の狭さなど、諸般の事情から、多くの方々にお集まりいただけなかったことをお詫び申し上げます。ここにご報告をさせていただきますとともに、改めて末續先生のご冥福をお祈り申し上げます。

<編集後記> 編集長：山田/ 編集：池ヶ谷、長江、杉山(み)、青山、渡邊

暑すぎる夏もあと少し。みなさんの今年の夏の思い出はなんですか？私は数年ぶりに水遊びをして肩が日焼けしてヒリヒリしました。久しぶりの感覚で懐かしかったです。まだ残暑がしばらく続きそうですのでみなさんも体調には十分気を付けてお過ごしくださいね。

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP
 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
 国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
 WEBSITE: <http://sp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
 国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
 WEBSITE: <http://jp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: info@kotoba.ac.jp

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
 富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
 WEBSITE: <http://fujisan.kotoba.ac.jp> E-MAIL: fujisan@kotoba.ac.jp